

## しまなみ海道サイクリングロードの利便性向上について

広島県では、しまなみ海道サイクリングロードの利便性向上のため、全国的にもあまり例のないユニークな取り組みとして、ブルーのラインや距離標などの路面標示を整備しました。

このたび、サイクリング愛好家などに対して行ったアンケート結果から、今回の整備に対し、高い満足度が得られていることが分かりました。

全国から注目されている「しまなみ海道サイクリングロード」を、県内外の皆様気軽にご利用いただけるよう、ご紹介をお願いします。

### 1 サイクリングロードの整備概要

昨年度、ルート案内の改善を目的として、県内の推奨ルート38kmのうち28km区間に、車道外側線（白線）に沿って幅20cmのブルーラインを連続して引き、ライン上に尾道駅から今治市までの距離を示す距離標を1kmごとに設置したものです。 ※ 県内の本州四国連絡道路（橋梁部）など一部区間を除く



ブルーラインをたどっていけば、ノーマップで迷わず推奨ルートを走行し、目的地までの距離も把握できます！

#### <ブルーライン整備のねらい>

- サイクリング推奨ルートを明示し、多くの方に分かりやすい案内を行う。
- 車道を走行する自転車利用者に対し、左側走行の原則に対する注意を喚起する。
- 自動車運転者に対して、自転車への注意を喚起する。

### 2 アンケート調査について

整備に対する効果の検証とサイクリングロード整備に対するニーズの把握を行うため、春秋2回のアンケート調査を計画。

今回、春に行った1回目の調査結果をまとめました（別紙参照）。

#### <第1回アンケートの概要>

- 実施日：平成23年4月29日（金）
- アンケート方法：当日、サイクリングを楽しんでいた方々に現地で聞き取り調査
- サンプル数：299名
- 調査実施箇所：向島の渡船口3地点、生口島の多々羅大橋付近1地点（計4地点）
- 主な結果 ルート案内について：「判りやすい」約88%  
ブルーラインについて：「判りやすい」約88%  
距離標について：「役に立つ」約89%

### 3 今後の予定

今回のアンケート調査では、サイクリングロード全体の危険箇所や不満点、要望などについても聞き取りを行っており、9月に予定している第2回アンケート調査と合わせ、利用者ニーズを分析し、よりよいサイクリングロードの整備に向け検討を進めて参ります。

しまなみ海道サイクリングロード路面表示整備状況



写真1 向島（向島町 因島大橋）



写真2 因島（田熊町 生口橋）



写真3 生口島（瀬戸田町福田）



写真4 生口島（瀬戸田町名荷）

※本写真の電子データは、提供可能となっています。

# しまなみ海道サイクリングロードブルーライン等の整備概要と整備効果把握を含めたアンケート調査結果について

広島県では、しまなみ海道サイクリングロード推奨ルート上の管理道路で、車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと距離標の路面標示整備を進めてきました。

今回の整備効果についてアンケート調査を実施した結果、9割近い方が今回整備したルート案内について、判りやすく、役に立ったと回答しており、効果的な整備であったことを示しています。

## 1. 平成 22 年度の整備概要について

広島県では、平成 22 年 10 月よりしまなみ海道サイクリングロード推奨ルート上の管理道路で、車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと距離標の路面標示整備を進めてきました。推奨ルート上の市道においても尾道市により整備が進められ、平成 22 年度末までに全ての整備が完了しました。

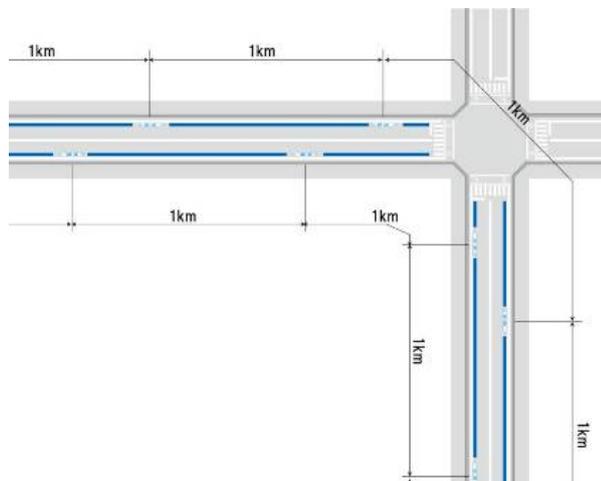


図 しななみ海道サイクリングルート推奨ルート

ブルーラインは主に次の効果を想定しております。

- サイクリング推奨ルートを明示し、多くの方に分かりやすい案内を行う。
- 車道を走行する自転車利用者に対し、左側走行の原則に対する注意を喚起する。
- 自動車運転者に対して、自転車への注意を喚起する。

ラインと併せ路面に整備した距離標示は、推奨ルート上における尾道駅～今治市サイクリングターミナル「サンライズ糸山」までの距離を示すため、ブルーのライン上に1kmおきに設置しております。



距離表示例

路面表示整備イメージ

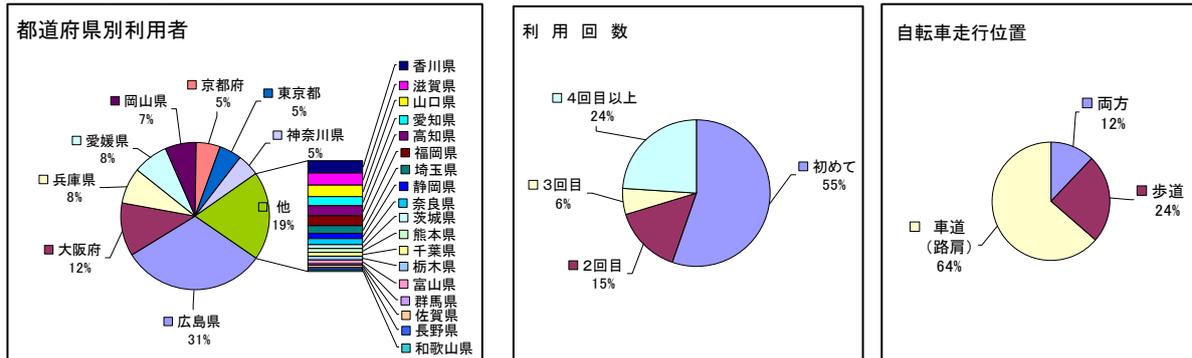
## 2. アンケート調査結果について

平成 23 年 4 月 29 日に実施したアンケート結果より

### <ポイント>

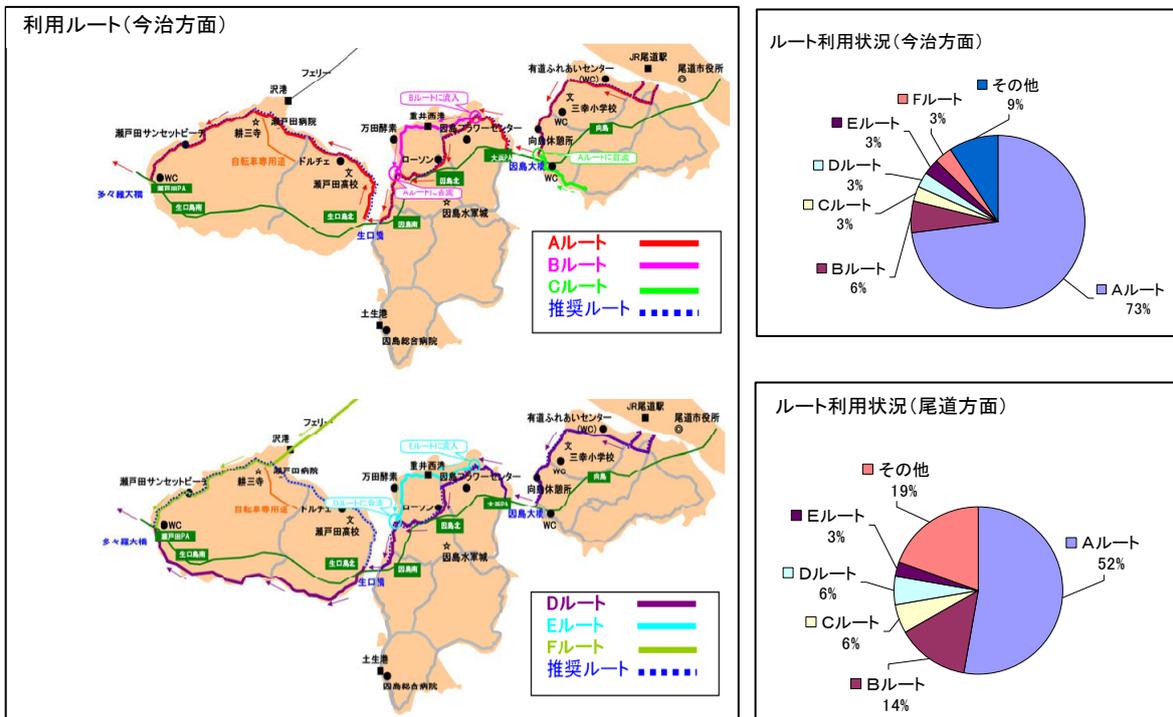
- ・県外の利用者が約69%を占める。
- ・走行ルートは、尾道方面では約52%、今治方面では73%と推奨ルートを多数の方が利用している。
- ・走行位置については、車道(路肩)の走行がもっとも多く、約64%を占めている。
- ・ブルーラインによるルート案内については、約88%の方が「判りやすい」と回答されている。
- ・路面標示による距離標については、約89%の方が「役に立つ」と回答されている。
- ・サイクリングロードのルート案内については、約88%の方が「判りやすい」と回答されている。

### <利用状況に関する事項>



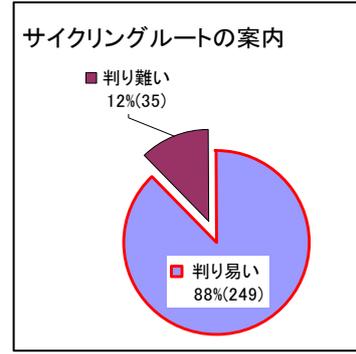
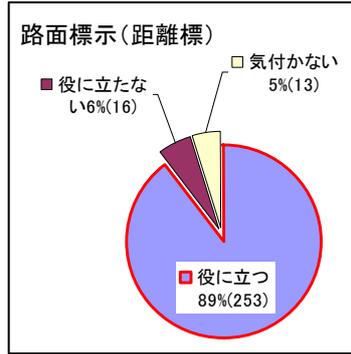
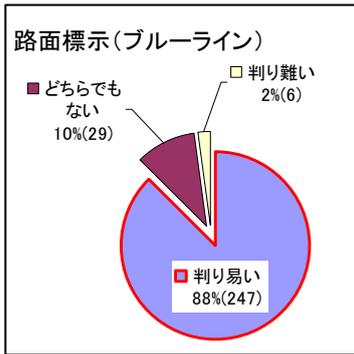
県外利用者が69%となっており、全国的な認知度の高さが伺える。また、利用回数の調査結果では、2回目以上のリピーターの方が45%もあった。

自転車走行位置については、車道(路肩)の走行が最も多く約64%となっている。



サイクリングの利用ルートについては、今治方面では推奨ルート(A ルート)の利用率が約73%、尾道方面でも推奨ルートの利用率が約52%と、各方面ともに推奨ルートの利用率が一番高くなっている。

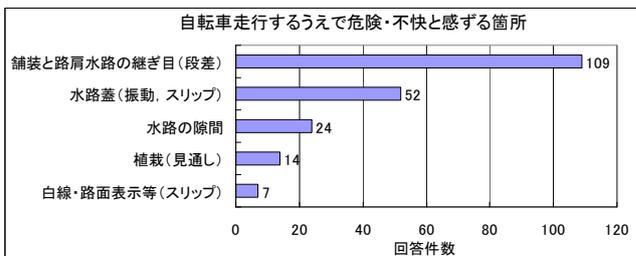
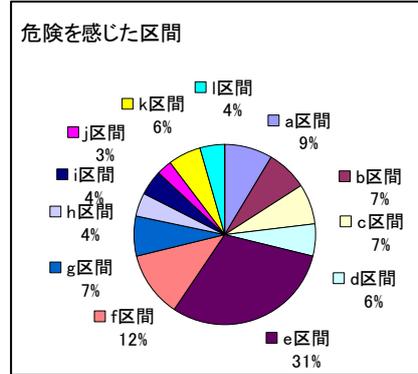
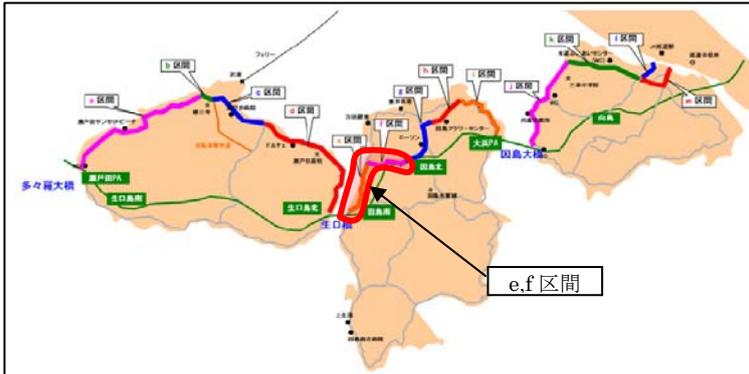
<整備効果に関する事項>



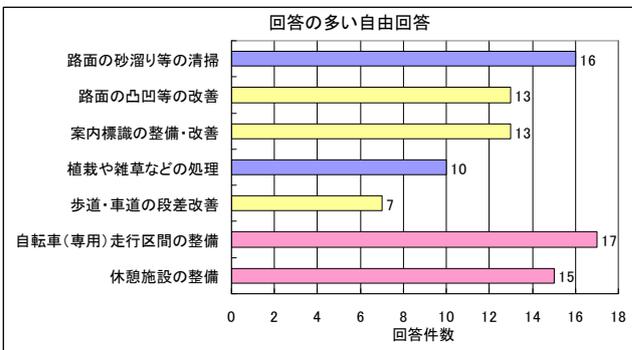
今回整備を行った路面標示は、ライン・距離標ともに9割近い方が「判りやすい」「役に立つ」と評価されています。サイクリングルート全般の案内についても、9割近い方が「判りやすい」と回答されています。

評価できない理由としては、ブルーラインでは「意味がわからなかった」(45%)、距離標では「目立たなかった」(34%)が一番に挙げられています。

<今後の整備に向けた事項>



推奨ルートでは、因島北ICから因島南IC間の(市)山田鬼岩線～(一)西浦三庄田熊線～(国)317号を經由するe, f区間が、最も自転車走行に危険を感じる区間として回答されています。



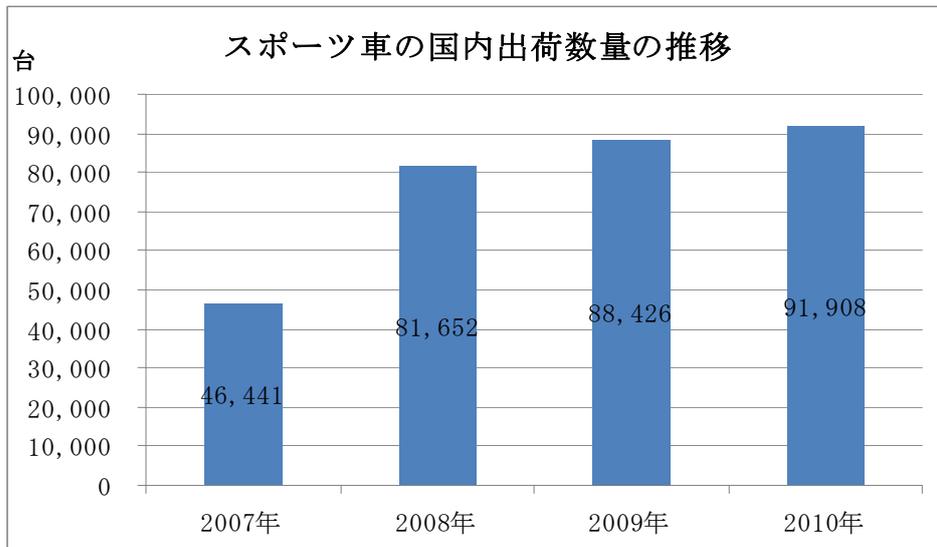
また、走行上危険・不安を感じる箇所については、「舗装と路肩水路の段差」など排水構造物に関する事項が約76%と、排水構造物の設置状況が、自転車走行に大きな影響を与えていることが伺えます。

自由回答においても、同様な意見が多数寄せられています。

今後は、今回の結果を踏まえ秋季(9月予定)のアンケート調査を実施し、整備効果とニーズを把握し、より良いサイクリングロードの整備に向け検討を行ってまいります。

## ■自転車出荷台数から見たサイクリング需要

サイクリング対応のスポーツ車の出荷台数は年々上昇しており、サイクリング人気の高さが伺える。



出典：(社) 自転車協会会員統計

## ■しまなみ海道の「ブルーライン」は(財)日本サイクリング協会からも高い評価

財団法人日本サイクリング協会(JCA)の「自転車乗車に関する調査研究事業」にしまなみ海道サイクリングロードのブルーラインが紹介されています。以下抜粋。

サイクリングロードやコースを作ったら、基本的には「ノー・マップ」で走れるよう工夫してほしい。たとえば、今やサイクリストの聖地ともなっている「しまなみ海道」では、看板やフットサインを充実させ、ほとんど「ノー・マップ」で往来ができる。

ただし、看板やフットサインが多すぎるのも問題。街の景観を損ねるからだ。その点も、しまなみ海道の看板やフットサインは適度であると思う。また、最近お目見えした「しまなみブルー」と称される新たなカラーラインにも注目だ。

サイクリングロードやコースを示すために、多くの場合は自転車走行レーンを「面」で塗りつぶす。国際的には水色で塗りつぶす例が多く、否が応でも目に飛び込んでくる鮮やかさだ。自転車レーンの認知や注意喚起にはいいかもしれないが、街の景観になじんでいるとは正直言えない。しかし、前述の「しまなみブルー」は色こそ水色であるものの、「面」でなく「線」で塗られている。しかも車道外側線に沿わせ、その同幅で引かれているため、まったく違和感がない。なんといっても、「しまなみブルー」というネーミングがステキではないか。

サイクリストはこの「しまなみブルー」のラインをたどって行けば、迷わずゴールへたどり着ける。つまり「ノー・マップ・サイクリング」ができる。住んでいる人にも、サイクリストにも優しい取り組みであるといえる。

## ■「しまなみサイクルオアシス」の整備(平成23年8月8日尾道市発表)

訪れたサイクリング客が気軽に立ち寄り、休憩や地域の人々との交流を図ることができる「しまなみサイクルオアシス」が、広島県内に16か所、愛媛県内に20か所整備される。

尾道市が、平成23年8月中旬より整備に着手し、整備が完了したところから順次オープン。9月末までには、全てがオープンする予定。

整備にあたっては、地元の企業、商店、レストラン、土産物店等を対象として、軒先や庭先、駐車場等をサイクリング客向けの休憩所として開放してくれる人を募集。尾道市には16件の応募があり、いずれも応募要件を満たしていたため、全件を整備することとした。